

様式2

教科	種目	発行者
数学	数学	啓林館

調査項目	意見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の内容をもとに新しい学習内容へと発展していけるよう単元の始めに「ひろげよう」を設定するなど系統性を考えた適切な構成になっている。</li> <li>・各項の始めに学習のねらいと導入問題が示され、学習内容に見通しをもって取り組むことができるようになっている。その後、豊富な「例」「問」を通してねらいが達成できる構成になっている。</li> <li>・「ふりかえり」を生かして、適切に既習内容を想起することができる構成になっている。</li> <li>・別冊の「学びをつなげよう」では、各章の学習と関わりのある既習内容を掲載することで学び直しが効果的にできたり、巻末の「ひろがる数学」では学習したことを発展的に学習できたりするなど十分配慮された構成になっている。</li> </ul>
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章や節の始めには、学習内容に関わった日常生活の一場面をとらえた題材が設けられたり、各単位時間においても、導入時に日常場面の写真を取り上げたりするなどして、学習内容を身近に感じ、学習意欲を喚起することができる工夫がされている。</li> <li>・「例」の問題ごとに、タイトルが付けられており、学習内容の把握がしやすく、また、「例」の次には、それに対応した「問」が設定されており、学びやすい構成になっている。</li> <li>・章末の「基本のたしかめ」や巻末の「くり返し練習」など基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る問題が十分に確保してある。</li> </ul>
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身のまわりへひろげよう」や巻末の数学広場にある「数学を通して考えよう」では、学習した内容が日常生活等でどのように活用されるかを示した例が多く掲載され、数学を身近に感じることができるよう適切に工夫されている。</li> </ul>
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適度な文字の大きさ、行間、余白があり、大変見やすい構成になっている。学習のまとめや重要語句の記述では、背景色を付けるなどして、注目しやすい工夫がされている。また、表紙、内容ページともしっかりした造本になっている。</li> <li>・巻頭の目次には、節だけでなく項までの学習内容が示してあることで、使用上の便宜が図られるよう十分配慮されている。</li> </ul>
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びをつなげよう」での学び直しの機会や「ひろがる数学」での発展的に学習する内容の設定など、多面的に学べるようよく工夫されている。</li> <li>・項の最後に設定されている「練習問題」、章末の「基本のたしかめ」や「章末問題」、巻末には「くり返し練習」や「まとめの問題」と、豊富な問題を通して幅広く学習できる適切な構成・配列になっている。</li> </ul>